

第26期 第10回 第一部会 議事録

1. 日時：令和8年4月10日（金）9:30～11:30
2. 場所：日本学術会議5階5-A（1）（2）会議室及びオンライン会議システムを併用したハイブリッド開催

3. 出席者（敬称略）

【現地出席 44名】

阿部彩、有田伸、依田高典、伊藤泰信、岩井紀子、臼井恵美子、大垣昌夫、大久保規子、大橋幸泰、小田中直樹、川嶋四郎、河野哲也、坂田省吾、定延利之、澤田康幸、島岡まな、嶋田洋徳、城山英明、鈴木基史、高橋裕子、竹沢泰子、只野雅人、中澤高志、中村征樹、西岡加名恵、西山慶彦、野口晃弘、芳賀満、早川誠、原拓志、原田範行、日比谷潤子、平田オリザ、広田照幸、丸谷浩介、三尾裕子、南野佳代、美馬のゆり、明和政子、矢野桂司、吉岡洋、吉澤誠一郎、吉田文、吉水千鶴子

【オンライン出席 14名】

植木朝子、宇山智彦、大塚直、越智敏裕、上東貴志、河原純一郎、小長谷有紀、戸谷圭子、広井良典、松本直子、馬奈木俊介、三成賢次、森口千晶、山田八千子

4. 議題等

4-1. 事務局より

4-1-1. 令和7年度決算・令和8年度予算

- ・事務局から、令和7年度の予算の執行状況が示された。
- ・事務局から、令和8年度（4月から9月まで）の予算が示された。なお、日本学術会議事務局全体の令和8年度（4月～9月）予算は716,832千円、法人化後の予算（10月～3月）は日本学術会議補助金として650,644千円であることが付言された。

4-1-2. 意思の表出の進捗状況

- ・事務局から、第一分野別委員会による意思の表出の申出・発出の状況について、

提言	申出0件	発出0件	（日本学術会議全体では7件 15件）
見解	1件	15件	（3件 36件）
報告	4件	7件	（9件 30件）
合計	5件	22件	（19件 81件）

であることが紹介された。

4-2. 分野別委員会・部附置分科会活動報告

- ・活動報告がなされた。

- ・心理学・教育学委員会から、第 27 期から心理学委員会と教育学委員会に分けることを検討している旨の報告があった。
- ・史学委員会から、史学委員会全委員 5 名連名で、光石衛会長宛に「日本学術会議 80 年史編纂・刊行についての要望書」を令和 7 年 10 月 31 日付で提出したが、これに対して事務局から、同年 11 月 27 日の幹事会懇談会にて承認され、「実施の方向で次期に申し送る」との返信を受け取ったことが報告された。
- ・政治学委員会から、紛争下の人道危機に関する国際政治分科会共催による公開シンポジウムの成果を英語書籍 (Motoshi Suzuki and Atsushi Ishida, eds., *Humanitarian Crises and Unravelling International Orders*, Springer, forthcoming) として刊行する予定であることが紹介され、今後様々なかたちでアウトリーチしていくことの重要性が指摘された。

4-3. 審議事項

4-3-1. 日本学術会議の法人化について

- ・日本学術会議憲章案について、詳細な議論が交わされた。
- ・その他法人化に関連する問題について、意見交換と情報提供がなされた。

4-3-2. 令和 8 年度夏季部会について

今年度は 8 月 6 日・7 日に臨時の総会が東京で開催されることから、地方での夏季部会は開催しないこととした。関連して、8 月 8 日に日本科学未来館との協働イベントを日本学術会議として計画中である旨、説明があった。

4-4. その他

特になし。